

非線維性過敏性肺炎の原因抗原の一つとして沖縄そばの打ち粉の可能性が考えられた 1 例

比嘉真理子¹⁾，大湾勤子¹⁾，比嘉慧²⁾，
具志堅弘樹²⁾，久田友哉¹⁾，知花賢治¹⁾

1) 国立病院機構沖縄病院呼吸器内科 2) 沖縄県立宮古病院呼吸器内科

要旨：

症例は 40 歳代の喫煙男性，沖縄そばの手打ち職人歴 4 年．酸化澱粉を主成分とする打ち粉の使用開始後に発熱と咳嗽が出現し，HRCT，BAL 液，TBLB の所見から非線維性過敏性肺炎と診断した．打ち粉に対するリンパ球刺激試験が陽性となり，自宅と職場の曝露や打ち粉非使用下の製麺作業では症状は誘発されず，打ち粉の中止後再発なく経過した．抗 *Trichosporon asahii* 抗体と鳥特異的 IgG 抗体も陽性で経過中に化学スプレーの使用歴もあり抗原特定は困難であったが，原因の一つとして打ち粉の可能性が考えられた．

非線維性過敏性肺炎 (non-fibrotic hypersensitivity pneumonitis)，酸化澱粉 (oxidized starch)，打ち粉 (sprinkling flour)，穀物粉塵 (grain dust)，リンパ球刺激試験 (lymphocyte stimulation test : LST)
打ち粉が被疑抗原の一つと考えた非線維性過敏性肺炎